



クロスカリキュラム

生徒が人生を切り拓く上で重要な共通のテーマを
全教科・科目で設定し、授業を展開

山梨県立白根高校



写真左・下/1年生の国語の授業では、学校生活の中の“HAPPY”を紹介する中学生向けのポスターを制作。生徒が様々な場面における幸福について発表し、相互評価した後、国語科の教師は、“HAPPY”という概念を、家庭科で生徒が学んだ「地位財・非地位財」の観点で整理した。



2年生の国語の授業では、『山月記』の登場人物の心情から“HAPPY”について考察。「固定観念から自由になることで幸せになれる」「諦めない強い気持ちが大切」などと、生徒は作品を土台に自己理解を深めた。

どんな学び？

1 授業の内容は？

スクールスローガン“HAPPY”をテーマとした授業を、1・2年生を対象に、全教科・科目で実施しています。幸福とは何か、どうすれば幸福になれるのかを、各教科・科目の視点で考え、テーマについての理解を深めます。

2 育成を目指す資質・能力は？

次代を生きるために必要な、物事を多面的・多角的に理解する力を育みます。

3 なぜ、この学びが必要？

変化が激しい社会で、主体的に人生を切り拓くためには、自分の幸福観の確立が必要であると考え、本テーマを設定しました。

複数の教科・科目の視点で、特定のテーマについて考察

クロスカリキュラムは、特定のテーマについて、複数の教科・科目・単元を関連づけて横断的・総合的に学習する学びです。環境問題や人権問題など、問題解決のためには多面的なアプローチが必要なテーマについて学ぶカリキュラムを、複数の教科・科目の教師が協働して組み立てます。

2020年度から、本校のクロスカリキュラムのテーマは、「HAPPY」(Be Healthy / Active / Positive / Powerful / Yourself の5要素)としました。20年度は、国語科では、「HAPPY」をテーマにしたキャッチコピーの制作に取り組み、英語科では、身の回りのユニバーサルデザインについて調べ、英語でプレゼンテーションを行いました。また、理科(「科学と人間生活」の生物分野)では、「動物の学習活動の原理から、試行錯誤して実現できたことの達成感」を考察し、家庭科では、「共に生き、共に支える」の分野で、自分の幸せに必要なものを「地位財」と

「非地位財」に分類するグループワークを実施しました(図)。

テーマを多角的に考えることで、生徒に主体的な行動が表れる

今年度のクロスカリキュラムは、7月から実施しています。各教科とも、シラバスを作成する際に、どの単元・分野で「HAPPY」をテーマとした授業を行うかを検討し、作成した授業指導案を校内の共有サーバーに保存します。そうしてそれぞれの取り組みを可視化することで、他教科の授業で扱った内容と関連させた授業を実施することが可能になります。

幸福について、複数の教科・科目

の視点で多角的に考え、自分事として理解できた生徒は、その実現のために主体的に動き始めます。夏季休業中、「HAPPY」をキーワードに日常を見直し、高齢の家族のために手すりを作った生徒もいます。

スクールスローガンである「HAPPY」は、生徒たちが多様な価値観や目標を大切にしながら、互いに学びの意欲を高め、自己実現に向けた一歩を踏み出すために存在しています。生徒には、幸福を利他的な感情として捉えるのではなく、自分の人生を形作る重要な要素として理解し、「100年時代」の人生を生きる力を高校時代に身につけてほしいと考えています。

図 家庭科クロスカリキュラム「HAPPY」授業案(2020年度・21年度)	
教科・科目	家庭/家庭基礎
単元	ホームプロジェクト
本時の目標(ねらい)	自己の家庭生活と関連づけて生活上の課題を設定し、問題の解決方法を考え、計画を立てて実践することを通して、生活を科学的に探究する方法や問題解決の能力を身につけさせる。
授業の流れ	<ul style="list-style-type: none"> 夏季休業中の課題として、幸せのために必要なものを挙げ、分類させる。 幸せのために必要なものを付箋に書く。(個人ワーク) 幸せに必要なものを「地位財」と「非地位財」に分類する。(グループワーク) 「地位財」と「非地位財」における、それぞれの幸せの持続性の違いについて理解する。(個人ワーク) 幸せに必要なものは、個人によって違うことを理解する。(個人ワーク) 幸せについての概念を確認した後、ホームプロジェクトの取り組み方に関するDVDを視聴する。 学習ノートのワークを使って、ホームプロジェクトの計画を立てる。(個人ワーク)

※学校資料を基に編集部で作成。



進路指導研究係主事
秋山香江
あきやま・かえ

教職歴37年。同校に赴任して9年目。家庭科。

学校概要

- ◎「自主自立」「進取研鑽」を校是として掲げ、スクールスローガン「HAPPY」の下、幸福追求を目的とするキャリア教育を推進する。
- シティズンシップ教育やローカルリーダー育成、地域探究学習など、多彩な教育活動を展開。ホッケー部やウエイトリフティング部などが、全国大会の出場経験を持つ。
- ◎設立 1984(昭和59)年
- ◎形態 全日制/普通科/共学
- ◎生徒数 1学年約130人
- ◎2021年度進路実績(現役のみ)
国公立大は、都留文科大学、山梨県立大などに4人が合格。私立大は、東京経済大、早稲田大、健康科学大、山梨英和大、山梨学院大などに延べ69人が合格。短大・専門学校進学69人。就職8人。

VIEWn-expressでは、「ウェブで見学 学びのnext」で、同校のクロスカリキュラムについてさらに詳しく紹介!
(12月17日公開予定)

VIEW n-express 検索